

小規模多機能居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス(株)	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所 の特徴	・「ケアライフ春日」は、住宅型有料老人ホーム・訪問介護・小規模多機能型居宅介護事業所・通所介護・居宅介護支援事業所を同敷地内に併設した、上越市初の複合型施設です。'自分らしさ'を大切に、住み慣れた町での暮らしを支えます。				
事業所名	小規模多機能あったかほーむ春日	管理者	藤田 梨恵						
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	合計
		1	1	1	1	1	1	1	7
項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果			意見	今回の改善計画			
A.事業所自己評価 の確認	事業所も目標に向け職員が連携をとりながら報告、連絡、相談を重ね意識を高く持ち日々の業務を遂行する。	・全員が課題に取り組んで書面での聞き取りも出来ている ・意見は反映されているように感じました。			・事業所にはたまにしか行かないが、運営推進会議や通信を見て活動を知ることが出来る。・職員さんがきちんと取組んでいるかは分かる。 ・行事等も感染症になったらどうするかを含めて出来るようになり幅が広がった。 ・職員の人数が少ないと行事が出来ないことも多い。・送迎時にほーむと自宅の様子を情報交換できるのが良い。励まされることも多い。	・事業所の目標に対して個々に意識を高め達成できるように心掛ける。進行具合や課題についても振り返りが行えるように定期的に会議の際に話し合う機会を持ち目標に向かっていくのか確認していく。			
B.事業所のしつら え・環境	事業所の活動や存在を幅広く知っていただく努力をする。 環境整備を実施し常に居心地の良い空間にして相談しやすい場所を提供を目指す。	・本社の方で個人情報の取り扱いについても変更があり広報紙の作成も内容を再検討してる。 ・環境整備を実施し常に居心地の良く相談しやすい場所の提供が出来た。			・面会は制限していないので気軽に来ることが出来る(感染症の状況で変わります)そこが割と好評です。 ・会議や面談等で訪れる方もホールの中を見て安心して帰ることも多い。職員はいつも明るくていいと思う。外部の方に来ていただく機会を多く持ち、楽しい時間の提供が出来た。 ・事業者内にある花や草木は利用者様にお願ひし環境整備していただいている。	事業所の活動や存在を知っていただけるよう継続する。利用者様の個別ケアにもつながるように、参加できる事柄を増やし、一緒にほーむの環境整備をしたり地域貢献できるような活動を提供する。			
C.事業所と地域のか かわり	利用者様が住まわれている地域に事業所の存在をアピールしていく。 外部ボランティアや多職種と共に連携しながら利用者様の楽しみや生きがいにつながるようなサービスを提供していく。	・利用者様が住まわれている地域全部にはアピールできなかった。 ・外部ボランティアの参加を計画、実施出来地域との交流につながった。			・職員の皆さんは元気ですね。 ・地域のイベントに行く前になると感染症が流行し参加出来ないことも多いが、少人数や家族の了解を得て参加出来る事もあった。 ・外部からの相談や電話が数件あった。 ・レクの提供を外部にお願いする事も実施できた。感染症が発生しても実施できるようなやり方も検討した。	外部との交流の機会を計画することで、職員が自ら地域との関わりが持てるように工夫していく。地域イベントの参加する事で周囲との良好な関係を築きたい。			

D.地域に出向いて 本人の暮らしを支える 取り組み	高齢者が町内と関わる際は、各町内会により対応が違うので、それぞれの地域での活動を聞く機会を持ち、利用者がどのように関わる事が可能かを確認していく。 地域に関わらず外部イベントや子供たちが関われるような環境の提案も提供していく。	・利用者様に関わる近所の方や地域の方との顔なじみになれるような関係が持てた。 ・秋祭りイベントを祝日にしたこともあり子供達との交流は出来なかった。	・秋祭り内容にもよるが平日参加も検討する。 ・運営推進会議ではいろいろな利用者様に参加して、ご自分の役割をもって頂けることに喜びを感じて頂けた。 ・利用者家族様からの紹介で相談に来られた方もいた。	利用者様に社会参加できる機会を増やすことで、生活の楽しみを提供する。利用者様に関わる方との顔見知りの関係も継続できるよう訪問時等に交流する機会を作る。
E.運営推進会議を活かした取り組み	・事業所単体で考えるのではなく、地域と連携していく中で相互利益が生じる関係になれるように意見交換していく。	・利用者様の作品紹介の場の提供は今でも継続しています。利用者様の楽しみにもなっている。 ・地域の困りごとに包括を交えて対応することもあった。 ・外部ボランティアの相談をした所、色々な方との紹介やアドバイスをいただき、今後のホームの行事に取り組めるようになった。 ・去年の節水対策の際も地域の状況の話を聞けて参考になった。 ・木田は人口が多いので町内の把握が大変なのも理解できた。	・困っている事の相談等行うと意見やアドバイスをいただいたき実現できる状態にまでになり感謝しています。 ・地域の現状も確認することでそのような対策をしているんだと確認することが出来た。 ・レクリエーションや研修など工夫されたり勉強しているんだと感じます。	・運営推進会議では、事業所の悩み事の相談、地域での活動や思いの意見を交わし今後も事業所の運営に活かせるように情報交換していく。
F.事業所の防災・災害対策	災害を想定した際の課題の細分化は継続していく。 天災だけでは感染症等も想定した訓練も継続し、初期対応を確実に行う事で感染防止する。	・災害時の細分化は出来ているがまだ書面やマニュアルが出来ていない所もある。 ・職員一人しかいないことを想定した物が必要なのではないかと感じた。	・今季正善寺ダムの渇水は初めての事だったが、現状や周囲の事業所とも意見交換もでき足並みそろえての対策が出来た。 ・職員が防災訓練を定期的に行っているのは会議で理解している。 ・感染症があると必ず知らせてくれるので事業所の状況が把握しやすい。	・災害を想定した際の課題の細分化は継続していく。年間の防災訓練も基本の繰り返しですが、色々な場面での対応の仕方等も想定できるような訓練を行う。